

## ワクチン3回目接種、発症予防効果「7割」…国内データを分析

2022/3/29 読売新聞

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の有効性を国内で分析したところ、発症予防効果は約7割あったとの推定結果を、長崎大などの研究チームが発表した。海外の研究報告と同等の結果で、チームは、日本でも3回目接種に一定の効果が見込めるとしている。

### ワクチン3回目接種、発症予防効果「7割」…国内データを分析

チームは今年1～2月、発熱などの症状を訴えて全国10都県の医療機関を受診した16～64歳の2000人を対象に、ワクチン接種歴や検査結果との関係性を調べた。3回目に米ファイザー製か米モデルナ製の接種を受けたケースでは、発症予防効果は68・7%だった。

一方、2回接種の発症予防効果は42・8%と推定され、昨年7～9月に同様に解析した際の88・7%を下回った。今回分析した1～2月は感染力の強い変異株「オミクロン株」の流行期に当たり、ワクチンの効果低下に影響したとみている。

中山哲夫・北里大特任教授（臨床ウイルス学）の話 「オミクロン株に対する効果を高める上で、3回目接種の意義は十分あると考えられる。日本のデータという意味でも価値が高い」

## コロナワクチン3回目、65歳以上で8割の予防効果…長崎大チームが推定結果を報告

2022/6/11 読売新聞



長崎大の森本浩之輔教授らのチームは、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の有効性を分析したところ、65歳以上では約8割の発症予防効果があったとの推定結果をまとめた。厚生労働省の助言機関に8日、報告した。

同チームは、16～64歳では約7割で発症予防効果があるとする分析結果を既にまとめており、「高齢者に関しても、ワクチンの3回目接種が有効であることが確認できた」としている。

チームは感染力の強い変異株「オミクロン株」が流行していた今年1～3月、発熱

などの症状で10都県の13医療機関を受診した16歳以上の約5200人を対象に、新型コロナウイルスの感染の有無やワクチンの接種履歴を調べた。

その結果、65歳以上では、米ファイザー製か米モデルナ製のワクチンを2回接種した場合の発症予防効果は23・3%しかなかったが、3回接種すると80・5%まで上昇すると推定した。